

令和2年度 自己評価及び学校関係者評価書（中間・最終）

輪島市立河原田小学校

		評価項目	達成状況	改善の方策（上段：中間 下段：最終）	評価委員による意見（上段：中間 下段：最終）
学力向上		「できる・わかる」授業で、意欲的に学ぶ児童を育成している。	B	分からなかったことは、授業中の個別の支援や放課後に個人指導で補充学習を行う。わかるまでがんばろうとする学習態度を育てていく。	・学校は頑張っていると思う。児童クラブへ来る前に教室で勉強してくる子が増えた。 ・返事の仕方など、しっかり口が開いていない感じが気になる。言いたいことをしっかり伝えるようにと家でも言っている。他のお子さんはどうか。 ・姿勢は、「机との間はこぶし1つ分」などの具体的な指示があるといい。 ・テレビを見る姿勢なども声かけが大切。家庭でも声かけしていきたい。 ・児童クラブで見ていると、漢字の「一」ばかり書くような子どもはいなくなった。
		姿勢や話し方・聞き方等の指導と家庭学習の習慣化など、よりよい学習習慣を身につけさせている。	B	学びの4ヶ条の意識化を図る。反応しながら聴く学習態度や、反応を確かめながら話す姿勢を、授業や普段の生活、集会でも声かけをしていく。	
		児童の実態を把握し、表現力やコミュニケーション能力の向上に努めている（学校研究）。	B	家庭学習の内容の向上に向けて工夫をすると共に、「議論し、話し合う道徳授業の充実に努める。	
心の教育・健康体力について		自己肯定感を高める取組を通して、よりよい人間関係づくりに努めている。	B	児童同士の温かい人間関係づくりに努めると共に、ほめられて嬉しかったことがあまりないと答えた児童に対する見とりや声かけを特に心がけていく。	・不公平のないようにほめることが大切。小さなことでもほめてもらえる子とそうでない子が出ないようにしてほしい。 ・家で見ているとスマホをさわっている時間が多い。 ・自転車のヘルメットは装着100%にしなければいけない。 ・挨拶は、家と学校では違うのか、親からの声かけが大切。 ・車の送迎が多く、人に会わないという点もあるのではないか。街頭に立っていると、一人で歩いてる子は話しかけてくる。
		元気で礼儀正しい挨拶ができるなど、規範意識や道徳性のある教育をしている。	B	学校以外や家庭の中でもあいさつが大切なことや、ゲームやネットの約束について、学校・家庭・児童が共通理解できるように働きかけていく。	
		読書に親しむ児童を育成している。	B	図書委員会や司書、読書ボランティアを中心に、お気に入りの本やジャンルが見つけられるように読書の楽しさを伝えていく。	
		規則正しい生活リズムを基盤とし、体力・運動能力の向上と健康や安全教育に努めている。	B	ヘルメット所持100%を目指すと共に、早寝早起きと連動しているゲーム・ネットの約束を守ることの声かけをしていく。	
		心身の健康を大切にするために、働き方や業務の縮減に努めている。	C	ICT機器のさらなる活用をはかり、スクールサポーターなどの力も借りて引き続き業務改善と意識改善に努める。	
家庭・地域との連携		保護者に、児童の様子や成長について細やかな伝達ができている。	B	心がけて伝える努力をすると共に、職員間での情報交換も丁寧に行うよう共通理解し 声かけをしていく。	・否定的な意見の保護者（3％）の意見を丁寧に聞いてあげてほしい。拾ってあげてほしい。
		PTA役員や各委員会と協力して事業を進め、学校と家庭との連携が図られている。	B	否定的な意見の原因がどこにあるのかを職員で共有し、学校全体で改善に取り組む。保護者の意見や要望も共通理解する。	
		地域の人材や自然・各施設など、地域と連携した教育活動を行っている。	B	地域人材や施設の活用について、次年度へ申し送りすると共に、学校側から積極的に働きかける姿勢ももちたい。	
		【A：十分達成している（そう思う） B：おおむね達成している（ややそう思う） C：どちらかというとは達成されていない（あまりそう思わない） D：ほとんど達成されていない（そう思わない）】			
総合評価意見	中間	子どもは一人の人間であり、環境によって変わる。預かった子ども全ての頭を揃えるのは無理。その子のペースを大切に、長所を伸ばす環境が大切。どの子も「小学校楽しかったなあ」と思える学校生活であってほしい。			最終